

☆10月7日 決勝大会には 多くの皆さんの参加をお願いします



ビブリオバトルとは？
発表者が観客に向けて
5分間でおすすめの本
を紹介し、投票で読みた
い本を選ぶゲームです。

観覧者募集！
ぜひ観覧と投票に参加してください！

3年生大会: 9/8 (火)
15:40~16:20
2年生大会: 9/9 (水)
15:40~16:20
1年生大会: 9/11 (金)
15:40~16:20

< 2 回 戦 >
1 回 戦 勝 者 大 会: 9/15 (火)
 15:40~16:20

10/7 **<決勝戦>**
(水) 15:40~16:30

双星ビブリオバトル決勝大会

会場：図書館

主催：尼崎双星高等学校 図書委員会

みんなが読みたくなる本を紹介してくれる人
バトラー（発表者）募集！
当日 参加OKです！
きみの「推し本」をもってきて熱く語ってください！

君の“**推し本**”をみんなに紹介してください！

ヒ
ブ
リ
オ
バ
ト
ル

讀書感想文

で発表しよう！

★☆☆★★☆★★☆☆★★★**新着図書案内**★☆☆★★☆★★☆☆★★★

『ファイア・ドーム 上・下』 辻村深月/著 小学館



誰もがいっまでも終わらせ
てなかった。25年前、身近
で突然起きた百貨店受付嬢誘
拐殺人事件という全国レベル
のニュースを。そして火の粉
はいまふたたびこの町にふり
かかる。写生遠足の後、姿を
消した少年は無事に帰してく
るのか？

『永遠の記憶』東野圭吾/著 文藝春秋



内海薫が刺された。犯人は70歳ほどの老人。飛び降り自殺を図るも失敗し、取り調べには黙秘を貫く。やがて内海に恨みを抱く若い娘が捜査線上に浮かぶが、老人との関係は不明。それどころか、内海への本当の復讐はこれからだった。彼女が迫った「究極の選択」とは一体。ガリレオ、最後の謎。

『王 国』 湊かなえ/著 KADOKAWA



海を愛する母と、国際協力事業団で海を守る仕事に就く父を見て育った浜崎朔也は海洋学部で学び、満を持してウェルネス・ツーリズムの会社「海の王国」を興した。幼い頃からの夢がようやく形になりかけた矢先、悲劇が起きる。——珊瑚の女王を殺したのは、誰なんだ？ 9人全員何かを隠している。究極のプロモンス・ミステリ。

『魔女と過ごした七日間』 東野圭吾/著 KADOKAWA



AIによる監視システムが強化された日本。指名手配犯捜しのスペシャリスト、元刑事・月沢克司が殺害された。息子の陸真は父の死後、自宅で見覚えのない女性の名前が書かれた書類を見つける。調べるうちに、不思議な力を持つ女性・円華に出会った陸真は、円華に導かれ、父の死の真相を追い始める。少年の冒険×警察ミステリ×空想科学。

『明日、あたらしい歌をうたう』 角田光代/著 水鈴社



幼いころから家に飾られていた、今は亡きカリスマ的ミュージシャンの写真を、父と聞いて育った新。誰にも見えない存在として少女時代を生きてきたある日、耳にした音楽に救われ、恋に出会って新の母となった、くすか。新が父の真実を知った時、二人の物語が、一つの歌に重なりはじめる。

『ちぎれた鎖と光の切れ端』 荒木あかね/著 講談社



無人島・徒島を訪れた友人同士七名。樋藤清嗣は復讐のため全員の殺害を決めていたが、彼の与り知らぬところで次々と殺されてしまう。決まって前の殺人の第一発見者が舌を切断されて。凄惨な事件の真相と結末とは？そして三年後、謎はふたたび蠢きだす。伝統と革新が詰まった令和の巨編本格ミステリ。

『ブティック』 池井戸 潤/著 ダイヤモンド社



君、銀行辞めて、どうするの？」入行3年目、エリート街道を歩んでいた雨宮秋都は、ある案件をきっかけに、理不尽な戦力外通告を受けてしまう。退職を決意した秋都が見つけた、新たな希望とは一？

『両手にトカレフ』 ブレイディみかこ/著 ポプラ社



寒い冬の朝、短くなった制服のスカートを穿いたミアは、図書館にいた。そこで出会ったのは、カネコフミコの自伝。読み進めるうち、ミアは誰よりもフミコが近くに感じられる一方、学校では自分の重い現実を話せなかった。けれど、同級生のウィルにラップのリリックを書いてほしいと頼まれ、ミアは少しずつ変わり始める。

『希わくばの詩』 田中 希実/著 世界文化社



東京世界陸上までの253日間、自身の内面と対峙し続けた。調子が良いのに失速する絶望、コーチである父との衝突、そして「なぜ走るのか」という根源的な問い。逃げずに走り続ける先に何を見たのか。田中希実、初の著書、トップアスリートが綴る想像を絶する苦悩。

『青天』 若林 正恭/著 文藝春秋



総大三高の「アリ」こと中村昂が所属しているのは、万年2回戦どまりの弱小アメフト部。引退大会でも、強豪・遼西学園の壁は高く、打ち砕かれて終わる。でも胸に残るのは、グラウンドで味わった痛みと、自分への苛立ち。オードリー・若林正恭、青春の苦みと悦びに満ちた、渾身の初小説。

『自然はすごい いつもの道が美しく見える5つの視点』

ノダ カズキ/著



自然の魅力を知れば、いつもの世界がもっと美しく見える。一本の野草や一杯のコーヒーの背後にある物語を読み解き、無味乾燥に見える毎日を「発見に満ちた探検」へと変えるためのガイドブックです。「なぜこの草がここに生えているのか？」という、何気ない風景の裏にある理由がわかる・単なる雑学ではなく、人生をよりおもしろく、美しく見るためのものの見方が手に入ります。

『パンに書かれた言葉』 朽木 祥/著 小学館



ヒロシマとイタリアをつなぐ記憶の旅。2011年震災後、母の生まれ育ったイタリアへ旅だった少女、光。そこで、今まで考えたこともなかった真実を知ることになる。戦争を乗り越えて生きてきた人々の“希望”を描く。——ヒロシマを描き続けてきた作者が、震災後、どうしても書きたかったという渾身の物語。

★★★
新
着
コ
ミ
ック
紹
介
★★★

『日出処の天子 全7巻』 山岸凉子/著



「聖徳太子」と聞いて、教科書に載っている穏やかな人物を思い浮かべる人も多いのでは？ところが、山岸凉子『日出処の天子』の厩戸王子は、超人的な力と類まれなる美貌を持つ、謎めいた人物。愛や嫉妬、権力争いが渦巻く飛鳥時代を描いた名作です。史実とは異なる部分もありますが、読めばきっと「本当の歴史は？」と興味が湧くはず。40年以上読み継がれ、2025年には野村萬斎によって能狂言にもなりました。時代の洗礼を受けてなお愛され続ける理由を、ぜひその目で確かめてみよう。

『阿・吽(あうん) 全14巻』 おかざき真里/著 小学館



最澄×空海 ふたりの天才の物語が始まる！日本仏教の要である、比叡山延暦寺の開祖である**最澄**、弘法大師の名で日本人なら誰もが聞いたことがある**空海**。レオナルド・ダ・ヴィンチにも匹敵するといわれる日本史上、比類ない天才である、最澄と空海がまさに華麗に、繊細に、そして豪快に描かれる人間ドラマです！平安の世、当時のニッポンを変えた！といっても過言でないこのふたりは、その青年期は人も羨むエリートコースを歩んでいたが……

『応天の門 全21巻』 灰原 薬/著 新潮社



時は平安、藤原家が宮廷の権力を掌握せんと目論んでいたその頃。都で突然起きた女官の行方不明事件。「鬼の仕業」と心配する帝から命を受けた**在原業平**は、月夜にひとりの青年と出会う。その少年の名は**菅原道真**。唐にあこがれる引きこもり学生だったが、のちに学問の神様と呼ばれる天才・**道真**と京都随一の歌人・**業平**の運命の出会いだった。身分も生まれも違う、およそ20歳差のふたりが京で起こる怪奇を解決していく！？ 平安クライム・サスペンス！